

SMART スマートアンブレラ UMBRELLA

課題 部門 No.10006

1. 目次

2. はじめに	2
3. 各部名称	2
3.1. 本体&コントローラ	2
3.2. スマートフォン	2
4. 本体の起動/終了	3
4.1. 本体の起動	3
4.2. 本体の終了.....	3
5. アプリケーションの起動/終了	4
5.1. アプリケーションの起動	4
5.2. アプリケーションの終了	6
6. スマートアンブレラを使う	6
6.1. 本体の操作方法	6
6.2. モード切り替え	6
6.3. 道案内を使う	7
6.4. 天気予報を使う	8
6.5. 電話を使う	8
6.6. 音声メモを使う	9

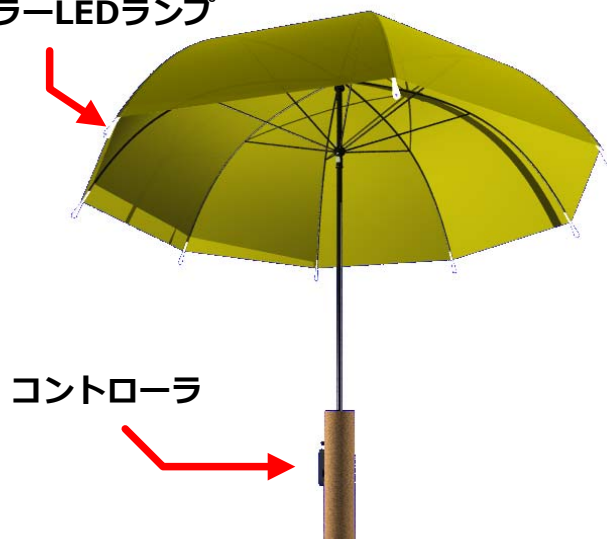
2. はじめに

スマートアンブレラは傘に様々な機能を搭載し、スマートフォンで制御することで雨の日の旅行をサポートするガジェットです。本マニュアルではスマートアンブレラの操作方法を説明します。

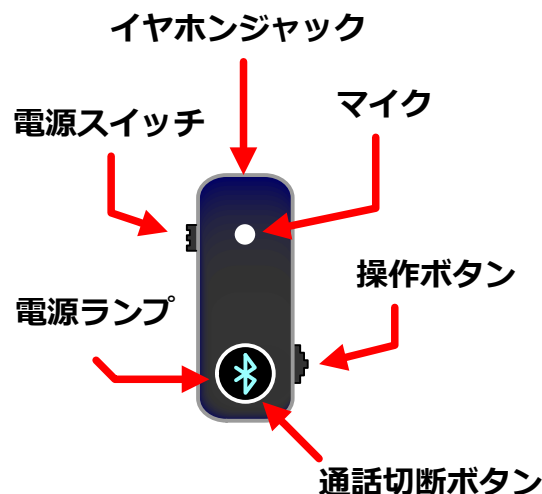
3. 各部名称

3.1 本体&コントローラ

カラーLEDランプ

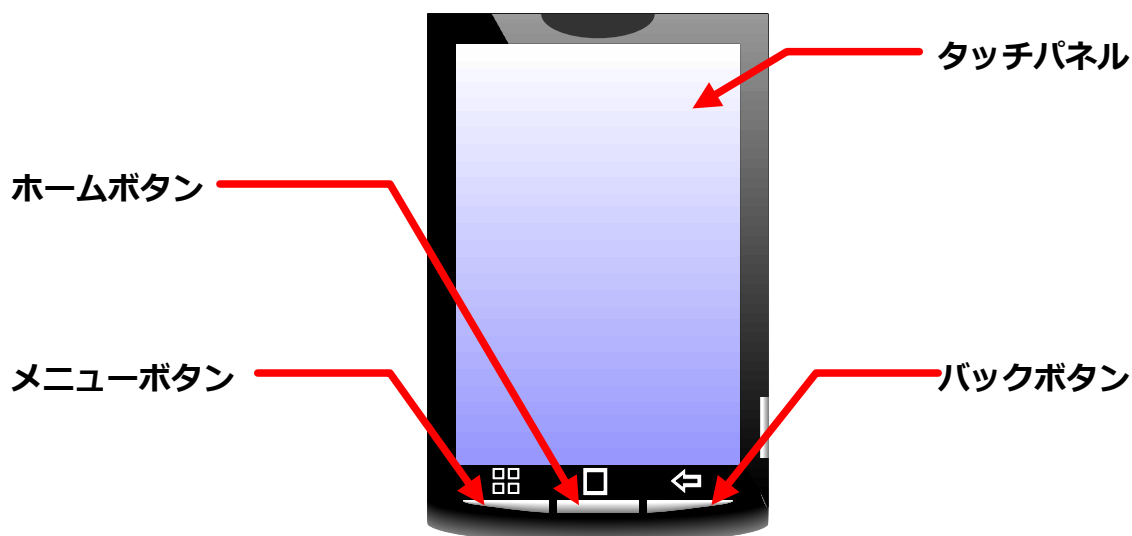


本体



コントローラ

3.2 スマートフォン



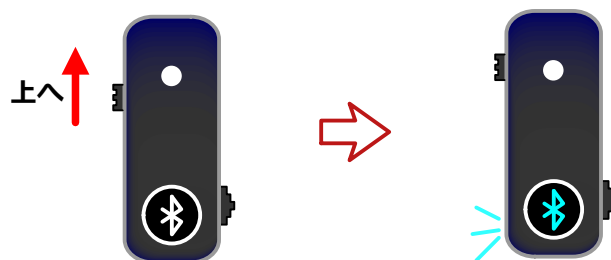
本マニュアルではSONY Xperia端末を例に挙げます。なお、他の機種ではレイアウトや画面サイズが異なる場合がありますが、基本的な操作方法は同様です。

4. 本体の起動/終了

4.1. 本体の起動

① コントローラの電源スイッチを入れる

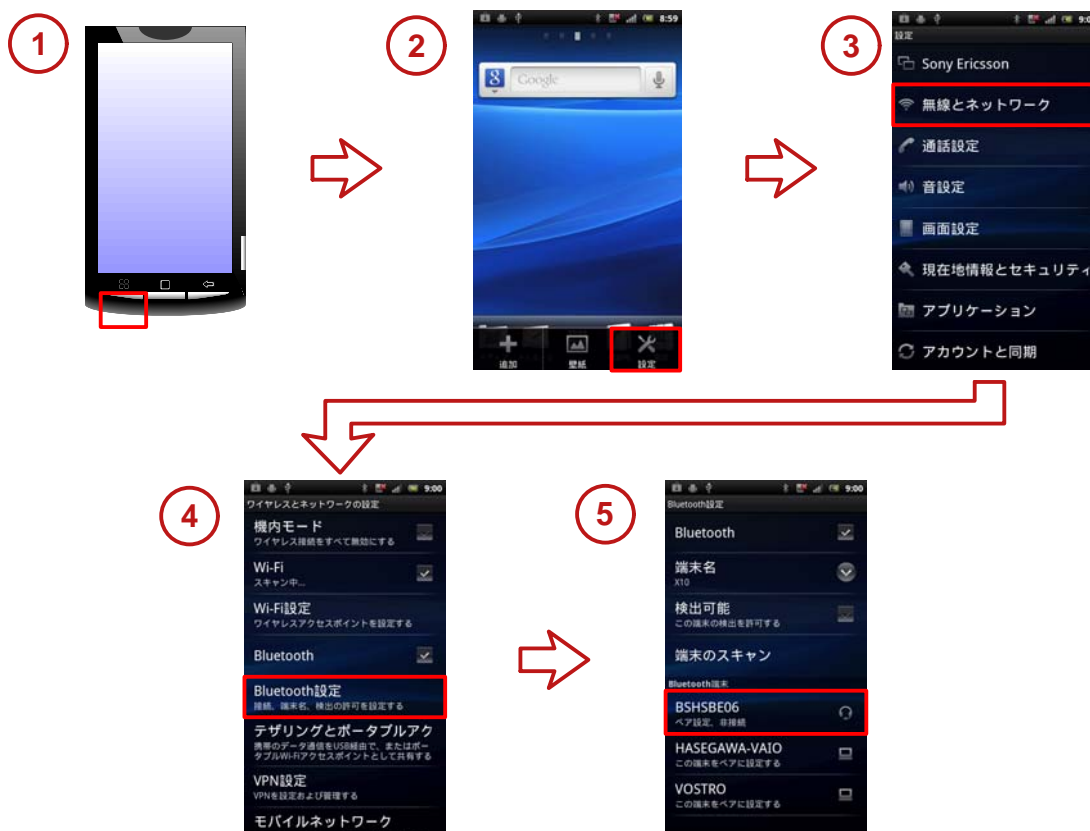
コントローラの電源スイッチを上動かすと電源ランプが青色に点滅し、起動します。



② Bluetooth設定

コントローラとスマートフォンのBluetooth接続を行います。

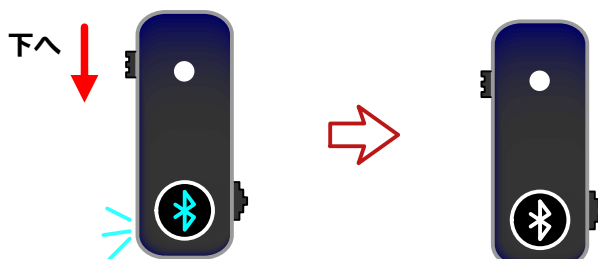
スマートフォンの①メニューボタンを押し、②設定→③無線とネットワーク→④Bluetooth接続→⑤BSHSBE06と選択します。



4.2. 本体の終了

コントローラの電源スイッチを切る

コントローラの電源スイッチを下動かすと電源ランプの点滅が終了し、電源が切れます。



5. アプリケーションの起動/終了


5.1. アプリケーションの起動

スマートアンブレラの機能を利用するためにはスマートフォン上のアプリケーションを起動し、使用するモードに合わせた設定を行う必要があります。

! 本体を起動してから開始してください

① アプリケーションの起動

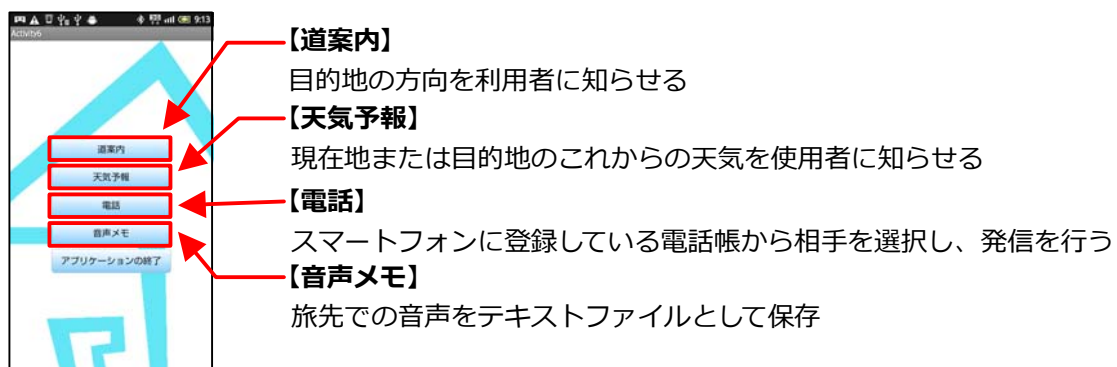
①画面下部中央の $\begin{matrix} \square & \square & \square \\ \square & \square & \square \\ \square & \square & \square \end{matrix}$ に触れるとメニュー画面が開きます。

②メニューの中から「スマートアンブレラ」のアイコン  をタッチすると③アプリケーションが起動します。



② モード選択

使用するモードのボタンをタッチしてください。



選択したモードにより次に行う操作が異なります。

【道案内】 または 【天気予報】 →5ページ「③. GPSの更新時間の設定」へ進んで下さい。

【電話】 または 【音声メモ】 →6ページ「スマートアンブレラを使用する」へ進んでください。

? モード選択を誤った場合

①「ホーム」ボタンをタッチするとホーム画面に戻ります。②使用したいモードのボタンをタッチしなおしてください。



③. GPSの更新時間の設定

自分の現在地の更新時間を決定します（初期値は3分）。更新時間の欄から任意のものをタッチしてください。



！更新時間を短くした場合

更新時間を短く設定すると得られる情報の精度は高くなりますが、以下の欠点があります。

- ・コントローラのバッテリー消費が増える
- ・通信量が増える

④. 目的地の設定

目的地を設定する場合、設定方法は大きく分けて2種類あります。

a. 入力ボックスから設定 b. 地図から設定

目的地の設定が不要な場合は「登録」ボタンを押してください。

a. 入力ボックスから設定

①入力ボックスをタッチしてください。②入力画面に移るので目的地の名前または住所を入力して「検索」ボタンを押してください。③目的地が表示されるので「登録」ボタンをタッチしてください。



b. 地図から設定

①地図を指でスライドさせ、目的地をタッチしてください。②目的地が表示されるので「登録」ボタンをタッチしてください。



5.2. アプリケーションの終了

モード選択画面のアプリケーションの終了ボタンをタッチ

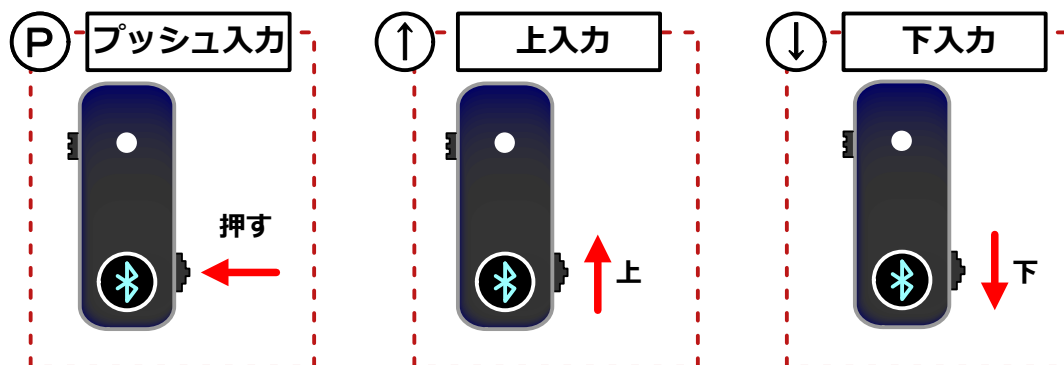
①各モード画面の「ホーム」ボタンからホーム画面に戻り、②ホーム画面の「アプリケーションの終了」ボタンをタッチしてください。アプリケーションが終了します。



6. スマートアンブレラを使う

6.1. 本体の操作

本体の操作は全てコントローラの操作ボタンを用いて行われます。入力操作は以下の3通りです。これ以降、操作ボタンの入力は (P) (↑) (↓) であらわします。

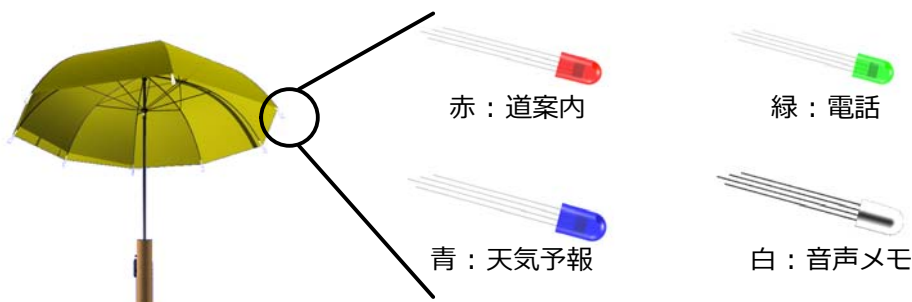


6.2. モード切り替え

起動直後はアプリで選択したモードとなっており、(P)入力によりモードが以下の順で切り替わります。

道案内→天気予報→電話→音声メモ

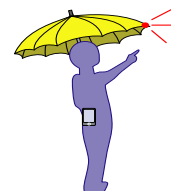
また、モードを切り替えるたびに本体のカラーLEDランプが約1秒ほど点灯し、その色により現在のモードを確認することができます。LEDの色とモードの関係は以下の通りです。



- 道案内を使用 →7ページ「道案内を使う」へ進んで下さい
- 天気予報を使用 →8ページ「天気予報を使う」へ進んで下さい
- 電話を使用 →8ページ「電話を使う」へ進んで下さい
- 音声メモを使用 →9ページ「音声メモを使う」へ進んで下さい

6.3. 道案内を使う

このモードは、設定した目的地までの道案内を行います。GPSで現在位置を取得して、目的地の方角のカラーLEDランプを点灯させます。また、点灯するLEDランプの色から目的地までの距離を知ることができます。

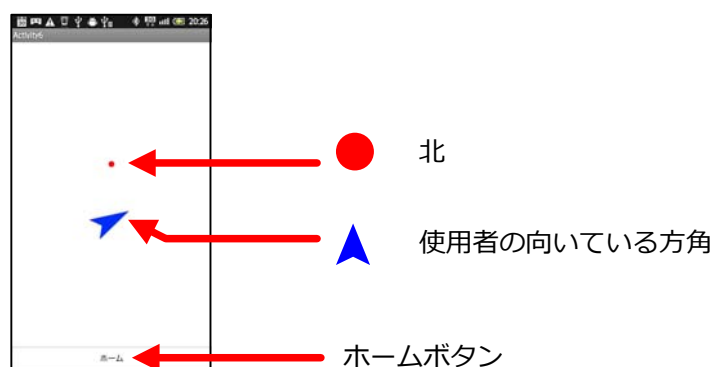


キャリブレーション

新たに目的地を設定したとき、正確な道案内を行うためにスマートアンブレラの本体に以下の手順で北の向きを設定する必要があります。

①. 北を向く

アプリケーションで道案内の設定が完了している場合、スマートフォンの画面は以下のように表示されています。▲ が●を指す方向に向いてください。



②. マークが自分と対面するように本体を持ち ①入力

スマートアンブレラ本体の柄の部分には▲のマークが描かれています。このマークが自分の方を向くように本体を持ち、①入力を行ってください。目的地の方角に対応したカラーLEDランプが点灯します。



コントローラの入力とその機能

① キャリブレーションの再設定

キャリブレーション設定時からスマートフォンが大幅に傾いたときなど、誤った方角のカラーLEDランプが点灯する場合があります。①入力を行うとキャリブレーションの再設定に移るので上記の「キャリブレーション」と同じ手順でキャリブレーションの設定を行ってください。

② キャリブレーションのキャンセル

誤って開始してしまったキャリブレーションの再設定をキャンセルします。

目的地までの距離とカラーLEDランプの関係

● 赤：～50m ● 黄：～300m ● 緑：～1km ● 水：～3km ● 青：3km～



6.4. 天気予報を使う

このモードは、現在地及び目的地の天気情報を知ることができるモードです。本体のカラーLEDランプの色と光り方で現在地の天気がこれからどうなるのかや、目的地の天気が現在どうなっているのかをユーザに知らせます。



コントローラの入力とその機能

① 現在地の天気情報

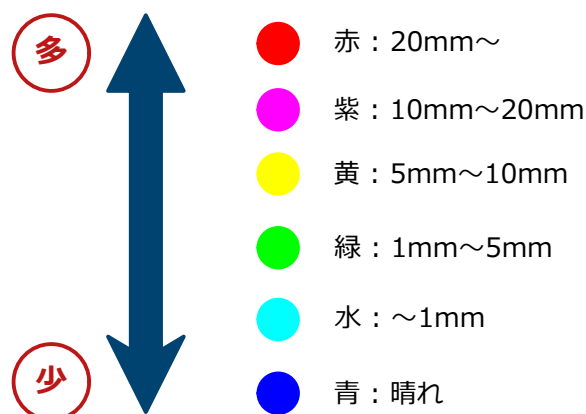
現在地の30分後の天気を本体のカラーLEDの色によりユーザに伝えます。

② 目的地の天気情報

アプリケーションで設定した目的地の現在の天気をカラーLEDの色によりユーザに伝えます。

天気とカラーLEDランプの関係

カラーLEDランプは降水量に対応して色が変わります。降水量と色の関係は以下のとおり



6.5. 電話を使う

このモードは、スマートフォンの電話帳から相手を選択し、通話を行うモードです。

① 別途ヘッドセットが必要です



コントローラの入力とその機能

① 通話相手の選択

① 入力を行うたび、電話をかける相手を変更し、名前を読み上げます。電話帳の登録順に通話相手が切り替わるため、電話をかけたい相手のところで止めてください。

② 電話をかける

選択した相手に電話をかけます。相手が応答したときはヘッドセットとマイクを用いて通話を行ってください。

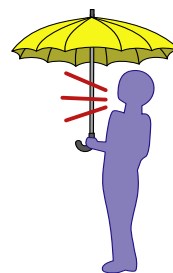
③ 通話を切断するときは？

コントローラの通話切断ボタンを押すと通話を切断します。



6.6. 音声メモを使う

傘を差しているときにメモを取りたくなった時、コントローラのマイクに向かってしゃべることにより音声テキストファイルとして残すことができるモードです。音声メモはサーバに転送することができ、インターネットに接続されたパソコンから確認することができます。



コントローラの入力とその機能

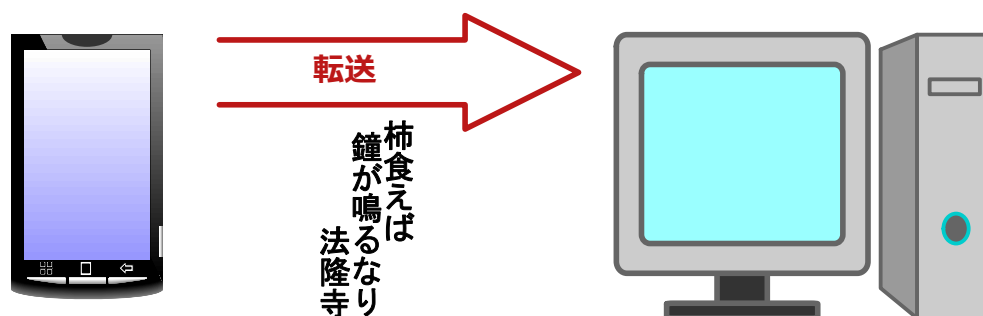
① 録音開始/録音終了

① 入力を行うと録音を開始することができます。コントローラのマイクに向かってしゃべってください。もう一度① 入力を行うと録音が終了し、確認のため音声メモが1度だけ再生されます。



② サーバに転送

録音した音声メモをサーバに転送します。



③ 転送した音声メモを確認するためには

転送した音声メモはインターネットに接続したパソコンから確認することができます。